



南小ホームページ QR コード

7月になり、おし暑い日が続くようになりました。そんな中でも元気に登校し、毎日一生懸命学習や活動に取り組む子どもたちに、職員もまた元気をもらっています。

『話すこと』に困り感をもつ児童について

＊ 今月は「話すこと」についてお伝えします。人が話すときには、体の様々な部分を使っています。目や耳でたくさんの情報を得たり、相手の話を聞いたりした後、それに合った返事・内容を頭で考え、まとめ、口に出して相手に伝えます。「恥ずかしい」「何と言っているかわからない」「人と話すことが苦手」「友達や家族と話すことはできるけど、人前で話すことは苦手」など、話すことへの不安や困り感は一人ひとり違います。

下記のような困り感をもっていたり、このような様子が見られたりするお子さんはいらっしゃいませんか？

- ☐ 言いたいことがうまく言えない
- ☐ 相手が何を言ったか忘れてしまう
- ☐ 「が」「を」「は」「の」「に」「で」「から」など、助詞の使い方を間違えている
- ☐ 尋ねられたことに答えられない
- ☐ 話しかけられてもすぐに考えや気持ちを言葉にできない
- ☐ なめらかに話せない
- ☐ 発音が聞き取りにくく、話している内容が伝わりにくい

絵やカードを使うことで順序よく話すことができたり、**いつ** **どこで** **だれが** **なにを** **どうした** **どう思った** のカードで話すことをまとめたり、うがいやシャボン玉など楽しく簡単に口を動かすことで徐々に発音をはっきりしてきたりと、簡単にできる支援もあります。

「話す」ことは、人と関わるうえで欠かせないことです。楽しく人と関わるために、お子さんの困り感や不安に早く気づき、安心して生活できるよう、サポートしたいものです。

もし、上記のようなことでお子さんが困り感をもたれていたら、気軽にご相談ください。

*** 来月のテーマは、「見ることに困り感をもつ児童について」です。お楽しみに！



おすすめの本

